

# オータムファミリーコンサート in ミナテラス

子どもへの虐待のない社会を目指して  
下野新聞  
子ども虐待防止啓発キャンペーン

## ごあいさつ

特別協賛である栃木トヨタ自動車の新井社長から来場者へのご挨拶があり、「今後も子ども食堂を中心とした地域支援を継続していきたい」との思いが語られました。  
日頃の取り組みを支える多くの方々への感謝とともに、地域のつながりを大切にしながら活動を広げていく姿勢が示されました。



左から、山口さん、鈴木専務、新井社長、松本専務

## 支援物資贈呈式

昭和子ども食堂の山口ますみさんから、子ども食堂での取り組みについて紹介があり、続いて栃木トヨタから支援物と目録が贈呈されました。  
子どもだけでなく、一人暮らしの高齢者や転入してきた方など、地域で孤立しがちな人を支える“コミュニティの居場所”としての役割にも触れられ、思いやりと優しさの大切さがあらためて共有されました。

たくさんの食品支援  
ありがとうございます！



## オリジナル楽器づくり

参加者は持参したペットボトルにどんぐりやビー玉などを自由に入れ、「歌う海賊団ッ！」のステッカーを貼り、オリジナル楽器を作り上げました。



清々しい秋空と心地よい風に包まれる中、「下野新聞」のちにハグを。×ミナテラスとちぎ with 歌う海賊団ッ！「オータムファミリーコンサート in ミナテラス」が開催されました。  
このイベントは、親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちにはオリジナル楽

## 秋空に響く、 歌声と笑顔

ども食堂への理解を広げ、支援の輪をつなげることを目的としており、2022年の初開催から今回で4回目となります。  
多数の応募の中から抽選で選ばれた150組のご家族が参加。会場では、コンサートで使用する楽器づくりのために、どんぐりなどの材料が配布され、親子で制作を楽しむ様子が見られました。  
子どもたちはオリジナル楽

器を完成させると、青空の下で鳴らしながら駆け回り、開演前から笑顔と期待に包まれ、最高の雰囲気イベントがスタートしました。  
午後1時、結成20周年を迎えた「歌う海賊団ッ！」さんちよーの元気な掛け声「ヨイホーッ！」を合図に、待望のスペシャルライブがスタート。  
1曲目の「虹色カーニバル」では、色とりどりの大きなバルーンが会場に登場し、子どもたちは大興奮！バルーンが頭上を舞う中、子どもたちだけでなく、パパやママ、おじいちゃんおばあちゃんも一緒に歌って踊り、会場は大盛り上がり。人気曲が披露されるたびに歓声と拍手が広がり、会場の熱気はさらに高まります。

## 歌って踊って 笑顔でひとつに



終了後には、海賊団とのハイタッチ会やサイン会が行われ、会場はさらに盛り上がり、会場全体が一つになる瞬間も。音楽と笑顔が響き合う、忘れられないひとときとなりました。

## 今年も届けられた 温かな応援の気持ち

栃木トヨタのお客さまをはじめ、社員や関係企業から集めた食品や当日の参加者が持参した支援物が「宝箱」に詰められて会場に登場。  
子ども食堂を代表して昭和子ども食堂の山口ますみさんが支援物と目録を受け取り、「皆さんの思いに支えられながら、子どもたちをはじめ地域の方々安心して集まれる場所を守っていききたいです。ご協力に心から感謝しています」と笑顔で語りました。支援物は後日、県内各地で活動する子ども食堂に届けられました。



# 虐待ゼロへ

## いのちにハグを。

とちぎ

### 特別号

企画・制作 下野新聞ビジネス局  
協賛 栃木トヨタ自動車

「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」キャンペーンでは、今年も引き続き「いのちにハグを。ACTION」を軸に、地域全体での啓発活動を積極的に展開しています。11月16日には、宇都宮市のミナテラスとちぎにて、子ども食堂の取り組みを応援するスペシャルイベントが開催されました。

